

放射線科だより

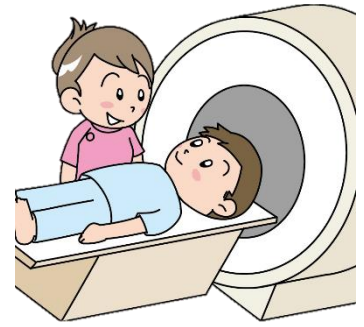


令和6年5月31日
診療放射線科 畑田 瞬

《造影剤とは?!》

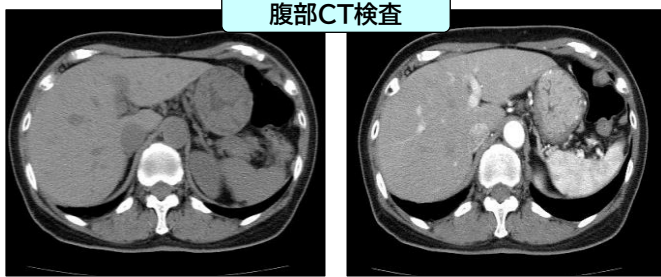
造影剤（そうえいざい）とは、検査画像にコントラスト（白黒の差）を付けるために使用されるお薬です。造影剤を使用することにより、体の中の臓器、血管、病気の状態などが分かりやすくなります。

検査の目的/部位によっては造影剤を使用しない場合もありますが、**より正確な診断を行うためには欠かすことができないお薬です。**



▲ X線CT検査

画像検査では、CT検査やカテーテル検査で使われる**ヨード造影剤**、MRI検査で使われる**ガドリニウム造影剤**、胃の検査で使われる**バリウム**など、色々な種類の造影剤が使用されています。

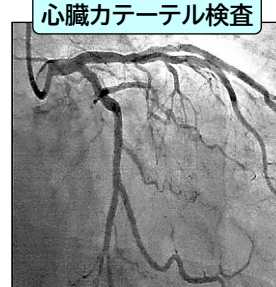


腹部CT検査

▲ 造影剤: 使用なし

▲ 造影剤: 使用あり

※ 造影剤を使用し、画像に白黒の差を付ける



心臓カテーテル検査

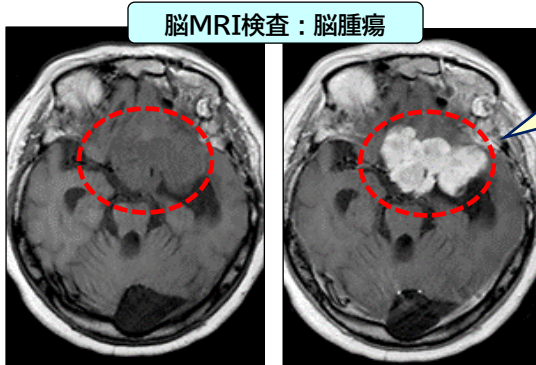
▲ 血管を黒く写す



胃バリウム検査

▲ 胃を白く写す

・検査症例



脳MRI検査：脳腫瘍

▲ 造影剤: なし

▲ 造影剤: あり

造影剤を使用することで、脳腫瘍が**白く写る**。

造影剤を使用し、血管に色を付け3D画像を作成することで、静脈部分(▲)が**つぶれ(狭窄)**、**途切れている**のがわかる。



上肢血管CT検査：血管狭窄

検査に関する疑問、質問などございましたら

お気軽に検査担当技師までお問い合わせください。